

令和6年度 【保健体育】単元（題材）計画

単元（題材）名	器械・器具運動		
単元期間	令和6年11月25日 ～ 令和6年12月16日	全時数	6時間
学習集団	高等部生徒（普通学級）	人 数	4名
児童生徒名	高3-B 計4名		
指導教諭	◎小久江 他1名		

※指導教諭の主担当には◎を付ける

単元目標	(知識・技能) ・一つ一つの技のポイントを意識して、取り組むことができる。
	(思考力・判断力・表現力 等) ・マットや平均台の一連の流れを覚えて通し演技をすることができる。
	(学びに向かう力、人間性 等) ・みんなの前で発表したり、友達の発表を見たりすることができる。
指導内容	体B①②③自1⑤5①③④

※指導内容は、教科の指導内容を記載。（指導内容構成表より当てはまるものを 国語A-① と記載する。）

計 画				
	日 時	題 材 名	主な目標	学習内容
①	11 / 25 4校時	器械・器具運動 『練習をしよう①』	・技のポイントを意識して、取り組むことができる。	・平均台やマット運動に取り組む。 ・一つ一つの技を動画で確認しながら行う。
②	11 / 27 4校時	器械・器具運動 『練習をしよう②』	・技のポイントを意識して、取り組むことができる。	・平均台やマット運動に取り組む。 ・一つ一つの技を動画で確認しながら行う。
③	12 / 4 4校時	器械・器具運動 『練習をしよう③』	・技のポイントを意識して、取り組むことができる。	・平均台やマット運動に取り組む。 ・一つ一つの技を動画で確認しながら行う。
④	12 / 9 4校時	器械・器具運動 『練習をしよう④』	・一連の流れを覚えて通し演技をすることができる。	・平均台やマット運動に取り組む。 ・技と技をつなげて行う。
⑤	12 / 11 4校時	器械・器具運動 『練習をしよう⑤』	・一連の流れを覚えて通し演技をすることができる。	・平均台やマット運動に取り組む。 ・技と技をつなげて行う。
⑥	12 / 16 4校時	器械・器具運動 『発表会をしよう』	・みんなの前で発表することができる。	・みんなの前で発表する。 ・友達の発表を見る。

評 価	(目標の三観点により観点別で評価)
	・Chromebook で手本の動画を視聴したり、言葉掛けを聞いたりして意識して取り組むことができた。 ・繰り返し取り組むことで、通し演技を覚えて発表することができた。

「主体的・対話的で深い学び」の視点に立った指導の工夫（単元計画や授業のデザイン）

	指導の工夫（事前）	評価（事後）
主体的な学び	・自分でやりたい技を選択できるように視覚的に提示する。	・選択することは難しかったが、動画を見て次にやる技を理解して取り組むことができた。
対話的な学び	・友達の発表を見て、よいところを伝えられるように選択肢を提示したり、聞いたりする。	・友達の発表を静かに見ることができた。 ・言葉でよいところを伝えることは難しかったが、拍手で友達を賞賛することができた。
深い学び	・自分の演技の動画を撮り、見てよいところや修正箇所を確認する。	・Chromebook で撮影し、一緒に確認した。修正する箇所を伝えたり、具体的に意識してほしい部位に触れたりして伝えることで意識して取り組むことができた。

学 習 指 導 略 案

指導の形態	保健体育	単元名	器械・器具運動
題材名	平均台やマット運動をしよう		
日 時	月・水 4校時 (11:15～12:00) 11/25, 27, 12/4, 9, 11, 16		
場 所	体育館		
対象生徒	高3-B 計4名		
目 標	・マットや平均台の一連の流れを覚えて通し演技をすることができる。 ・一つ一つの技のポイントを意識して、取り組むことができる。 ・みんなの前で発表したり、友達の発表を見たりすることができる。	指導内容	体B①②③ 自1⑤5①③④
時 程	生徒の学習活動	教師の指導・支援 (関わり、働きかけ)	留意事項、教材教具
11:15	1. はじめの挨拶 ○教師の号令に合わせ、はじめの挨拶をする。 ・体育座りをする ・前や教師を見る ・「声に出す」「サインを出す」「頭を下げる」など挨拶をする	□MT：小久江 ■ST：○○ □前に出て、はじめの挨拶をする。学習活動をポイントに、簡単に指示をする。 ■生徒の実態に合わせ、適宜指導を行う。	・ホワイトボード ・スケジュール ・ポイントマーカー ・マット ・平均台 ・エバーマット ・Chromebook (教師用・生徒用)
11:16	2. 本時の学習活動の確認 ○教師の話を聞いたり、学習表を見たりして、本時の学習活動を知る。 ①準備運動 (ストレッチ) ②器械・器具運動 ③終わりの挨拶	□流れの表を見せながら、本時の学習を伝える。 ■MT の話を聞いたり、流れの表に注目したりするよう、必要に応じ指導する。	
11:20 (35 分)	3. 準備体操 (ストレッチ) ○教師の手本を見てストレッチをする。 4. 器械・器具運動 ○動画や手本でポイントを伝え、動きを一つずつ確かめる。 ○動画を撮って演技を振り返る。	□前で手本を見せる。動きの手掛かりとなる言葉掛けを行う。 ■実態に合わせ、ポイントを絞り指導をする。	
11:55 (5 分)	5. 片付け ○所定の位置へ片付けをする。	□片付けをすることを伝える。 ■安全面に配慮しながら、適宜支援する。	
12:00	6. 終わりの挨拶 ○教師の号令に合わせ、終わりの挨拶をする。 ・体育座りをする ・前や教師を見る ・「声に出す」「サインを出す」「頭を下げる」など挨拶をする。	□前に出て、終わりの挨拶をする。学習活動をポイントに、簡単に指示をする。 ■生徒の実態に合わせ、適宜指導を行う。	

【配置図】



【普通学級】

〈平均台〉

前・横・後ろ歩き、ポーズ、バランス

〈マット運動〉

横転、前転、後転、開脚前転、側転、ポーズ、バランス

令和6年度【音楽】単元計画

I 単元計画

単元名		諸外国の音楽			
単元目標（何ができるようになるか）					
知識及び技能		・ 季節にちなんだ音楽を知る。 ・ 色々な音楽や作曲家、楽曲の背景や構造、曲想及び歌詞の意味などについて知る。			
思考力、判断力、表現力等		・ 行事や季節にちなんだ音楽を、音程やリズム、音色に注意しながら表現する。			
学びに向かう力、人間性等		・ 表現活動や鑑賞を通して、諸外国の伝統音楽や様々なジャンルの音楽に親しもうとする。			
単元の期間		11月20日～12月20日		単元時数	9時間
月日／校時	主な学習内容 (何を学ぶか・どのように学ぶか)	観点	授業形態	担当	場所
11/20 水④	11/20、26、12/3、10 ・ 発声（深呼吸、らららソング） ・ 歌唱（第九～ドイツ語） ・ 歌唱（君に捧げる応援歌 ショート ver.） ・ 身体表現・創作（ライラック、はいよろこんで 踊ってみた動画） ・ 鑑賞（一万人の第九、オペラ「椿姫」より乾杯の歌、バレエ「くるみ割り人形」、ミュージカル「レ・ミゼラブル」） 11/22、29、12/6、13、20 ・ 発声（深呼吸、らららソング） ・ 歌唱（第九～ドイツ語） ・ 歌唱（君に捧げる応援歌 ショート ver.） ・ 器楽（きよしこの夜 トーンチャイム、メロディブロック、キーボード、ドレミパイプなど）	知・思・学	基本は全体	MT： 加藤	運動指導室
11/22 金③		知・思・学			
11/26 火⑥		知・思・学			
11/29 金③		知・思・学		MT： 加門	
12/3 火⑥		知・思・学			
12/6 金③		知・思・学		MT： 加藤	
12/10 火⑥		知・思・学			
12/13 金③		知・思・学			
12/20 金② (公開研)		知・思・学			

高等部 音楽 学習指導略案

単元名	諸外国の音楽			
授業名	(発声、歌唱、身体表現、鑑賞)		指導場所	運動指導室
指導日時	11月20日(水)4校時 11:20～12:10			
全体のねらい	・季節にちなんだ音楽を知る。 ・色々な音楽や作曲家、楽曲の背景や構造、曲想及び歌詞の意味などについて知る。 ・行事や季節にちなんだ音楽を、音程やリズム、音色に注意しながら表現する。 ・表現活動や鑑賞を通して、諸外国の伝統音楽や様々なジャンルの音楽に親しもうとする。			
個別のねらい		目標	評価(◎○△・記述)	
	A	手話の動きを思いだし、歌唱しながら表現することができる。		
	B	歌詞の一部分を歌ったり、手話の一部分を表現したりすることができる。		
	C	手話の動きを思い出し、歌唱しながら表現することができる。		
	D	歌詞の一部分を歌ったり、手話の一部分を表現したりすることができる。		
	E	楽器の鳴らし方がわかり、鳴らそうとすることができる。		
	F	鑑賞で自分の考えを2つ以上書くことができる。		
	G	歌詞を見ながら、読むことができる。		
	H	楽器の鳴らし方がわかり、鳴らそうとすることができる。		
	I	音楽を聞きながら、体を動かそうとすることができる。		
	J	歌詞を見ながら、読むことができる。		
	K	手話の動きを思い出し、歌唱しながら表現することができる。		
【 評価： ◎…達成 ○…部分的に達成 △…目標・見立ての見直しが必要 】				
時程	展開	児童生徒の学習活動	教師の支援活動	教材・教具
11:20	あいさつ	・終礼ではじめのあいさつをする	M) ピアノで終礼を弾く	長机6 テレビ i P a d
	学習内容の確認	・教師の話を聞き、本単元の学習内容を知る。 ・本時の学習内容を確認する。	M) 学習内容について説明する。 S) MTに注目するよう支援する。	
11:22	歌唱 ～発声練習	・ラジオ体操の「深呼吸」で体の準備をする。 ・らららソングの動画を見て、どんな発声練習をするのか知る。 ・1回らららソングの動画に合わせて発声練習をする。	M) ポイント、何をやるのかの説明を行う。 S) 隣で一緒に声を出すなどの支援を行う。	iPad で歌詞
11:30	歌唱 ～歓喜の歌	・曲名、作曲家について知る。 ・映像を見て、どんな曲か知る。(サントリー1万人の第九) ・歌詞のデータの場所を知り、歌詞を見て読む。 ・1回歌ってみる。	M) 曲についての説明をする。 歌詞を読み、復唱するよう促す。 歌唱の手本を示す。 S) 歌詞カードや画面を見るよう個別に応じた支援を行う。	
11:43	歌唱 ～君に捧げる 応援歌	・映像を見て、以前にやった時のことを思い出す。 ・1回歌ってみる。	MS) 手本を示しながら、生徒と一緒に歌う。	
11:48	身体表現～ 踊ってみた動画を撮ろう① ライラック、はいよこんで	・最終的には踊ってみた動画になることを知る。 ・音楽を聴き、映像を見ながら、一緒に体を動かす。 ・体を動かしながら、曲の雰囲気を感じる。	M) 今後の予定を伝えたり、動きの手本を示したりする。 S) 隣で一緒に体を動かすなど、個別に応じた支援を行う。	プリント 選択肢カード
11:55	鑑賞～ 交響曲第9番 第4楽章	・作曲家や交響曲について知る。 ・楽器の音色や、曲の雰囲気、演奏者の様子などについて注目しながら鑑賞し、気付いたことなどをプリントに記入する。	M) 作曲家や曲についての説明をする。 S) 感想について、一言で終わらないよう、個別に言葉掛けし、気付いたことを深められるようにする。	
12:10	あいさつ	・終礼でおわりのあいさつをする。 ・椅子と机を片付け、教室に移動する。	M) ピアノで終礼を弾く。	

高等部 音楽 学習指導略案

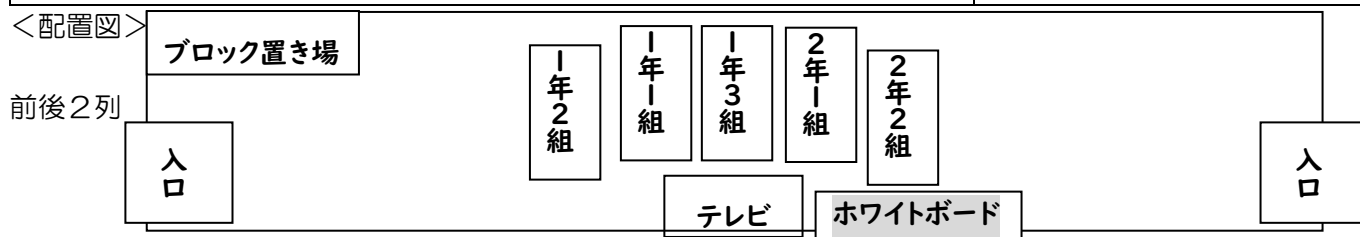
単元名	諸外国の音楽			
授業名	(発声、歌唱、器楽)		指導場所	運動指導室、2組教室
指導日時	11月22日(金)3校時 10:25～11:15			
全体のねらい	・季節にちなんだ音楽を知る。 ・色々な音楽や作曲家、楽曲の背景や構造、曲想及び歌詞の意味などについて知る。 ・行事や季節にちなんだ音楽を、音程やリズム、音色に注意しながら表現する。 ・表現活動や鑑賞を通して、諸外国の伝統音楽や様々なジャンルの音楽に親しもうとする。			
個別のねらい		目標	評価(◎○△・記述)	
	A	手話の動きを思いだし、歌唱しながら表現することができる。		
	B	歌詞の一部分を歌ったり、手話の一部分を表現したりすることができる。		
	C	手話の動きを思い出し、歌唱しながら表現することができる。		
	D	歌詞の一部分を歌ったり、手話の一部分を表現したりすることができる。		
	E	楽器の鳴らし方がわかり、鳴らそうとすることができる。		
	F	歌詞の一部分を歌ったり、手話の一部分を表現したりすることができる。		
	G	どの鍵盤を弾くかわかる。		
	H	楽器の鳴らし方がわかり、鳴らそうとすることができる。		
	I	自分の担当の音とタイミングがわかり、演奏しようとする事ができる。		
	J	自分の担当の音とタイミングがわかり、演奏しようとする事ができる。		
	K	自分の担当の音とタイミングがわかり、演奏しようとする事ができる。		
【 評価： ◎…達成 ○…部分的に達成 △…目標・見立ての見直しが必要 】				
時程	展開	児童生徒の学習活動	教師の支援活動	教材・教具
10:25	あいさつ	・終礼ではじめのあいさつをする	M) ピアノで終礼を弾く	長机6 テレビ i P a d
	学習内容の確認	・教師の話を聞き、本単元の学習内容を知る。 ・本時の学習内容を確認する。	M) 学習内容について説明する。 S) MTに注目するよう支援する。	
10:27	歌唱 ～発声練習	・ラジオ体操の「深呼吸」で体の準備をする。 ・2回ららソングの動画に合わせて発声練習をする。	M) ポイント、何をするのかの説明を行う。 S) 隣で一緒に声を出すなどの支援を行う。	iPad で歌詞
10:32	歌唱 ～歓喜の歌	・作曲家についての問題に答える。 ・歌詞の読み方練習、メロディの確認をする。 ・1回通して歌う。	M) 歌詞を読み、復唱するよう促す。 メロディをピアノで弾きながら歌唱の手本を示す。 S) 歌詞カードや画面を見るよう個別に応じた支援を行う。	
10:45	歌唱 ～君に捧げる 応援歌	・1回歌って思い出す。 ・手話の確認をする。 ・1回通して歌う。	MS) 手本を示しながら、生徒と一緒に歌う。	
10:55	器楽 ～きよこの夜	・担当の楽器を知る。 ・練習する際の座席を知る。(NZさんは2組教室) ・各自、映像や楽譜を見ながら練習をする。 ・鍵盤隊、トーンチャイム隊にわかれ、1回ずつ演奏する	M) 担当楽器の説明、個別に応じた支援を行う。 S) タイミング、鍵盤の位置など個別に応じた支援をする。	
11:15	あいさつ	・終礼でおわりのあいさつをする。 ・椅子と椅子はそのまま、次の教室に移動する。	M) ピアノで終礼を弾く。	

小学部 1、2 年生 音楽 指導略案

単元名	どうぶつえんへいこう	担当	
時 間	9月2日（月）～9月27日（金） 2校時 全 8時間	場所	小学部 さくらホール
グラウンド デザイン	・自分らしく生きる力 ・コミュニケーション、関わる力 ・前に進もうとする心		
ねらい	・曲の歌詞やリズムに合わせて、歌ったり、体を動かしたり、自分のパートで楽器を演奏したりすることができる。（知・技） ・音楽表現を楽しんだり、音や音楽に気づいて興味や関心をもって聴いたりすることができる。（思・判・表） ・音や音楽に気づいて、教師と一緒に音楽活動をする楽しさを感じる。（学びに向かう力）		
道徳 内容項目	A 主として自分自身に関すること <向上心、個性の伸長／希望と勇気、努力と強い意志> B 主として人との関わりに関すること <友情・信頼> D 主として生命や自然、崇高なものとの関わりに関すること <自然愛護>		
協同的な学びに 向けての取り組み	・できるようになった動きを生かして友達と一緒に踊ることで、みんなと音楽活動することの楽しさを深められるようにしていく。 ・自分の活動を発表し、友達や教師から賞賛されたり感想を聞いたりすることで、学習に向けてより意欲をもったり、音楽活動することの良さを感じたりすることができるようにしていく。 ・（自分のやりたいことを考え、選択しながら学習できるようにする。（主体的な学び））		

活動内容	留意事項・備考（準備物）
○楽器は前日に音楽担当が準備し、布をかけて隠しておく。 ○さくらホールに椅子を持って集合する。 ○当番がはじめのあいさつをする。 ○9月の音楽では、動物が出てくる曲を学習することを伝える。	・9:50 にスタートできるように集合する。 ・学習開始前に『どうぶつえんへいこう』をイントロとして流しておく。
○はじまりのうた『手と手であいさつ』 ・音楽の始まりの歌として友達と手をつないで歌う。	・一年間通して学習する。
○うたおう『アイアイ』 ※1 番のみ繰り返し ・発声練習として、『あくびのうた』に取り組む。 ・さるやアイアイの映像を見て、曲のイメージをもつ。 ・さるのポーズの身体表現をしながら歌唱する。 ☆歌唱や身体表現がよくできた児童は、みんなの前で発表する。	・歌唱の学習の最初に、発声練習を取り入れる。 ・初めはゆっくりとした速度で取り組む。
○えんそうしよう『ゴリラのおんがくかい』 ・曲を聴いて、出てくる楽器を確認する。（太鼓、タンブリン、鈴） ・曲の歌詞に合わせて楽器を演奏する。 ☆自分の演奏したい楽器を選択し、グループに分かれて演奏する。	・歌詞を取り組みやすいように変更して録音した曲で学習する。 ・学習の後半にアンケートを取り、好きな楽器のグループに分かれていけるようにする。
○からだをうごかそう『しろくまのジェンカ』 ・教師のまねをして、ジェンカのリズム足を動かしたり、ジャンプしたりする。 ☆友達や教師と手を繋いだり、列になったりして、ジェンカを踊る。	・一人で→少人数で→みんなで、というように、段階的に取り組む。
○みたりきいたりしよう 『ジャングルポケット』 ・曲や教師の演示を鑑賞する。 ・曲に合わせて動物に変装してポケットから飛び出したり、動物のパネルを貼ったりする。 ☆自分の演じたい動物を選択し、学級ごとに友達の前に出て演示を発表する。 ☆友達が曲に合わせて動いたり、パネルを貼ったりする様子を鑑賞し、発表に	☆発表する学級は、事前に自分の演じたい動物や頑張りたいことを決めておく。 ・発表→評価カードを貼る活動は、5時間目から実施していく。

対して感想を言ったり、いいねカード（評価カード）を貼ったりする。	
○ふりかえり ☆好きな学習活動と、自分の気持ち（楽しかった、頑張った、難しかった）を選んで発表する。 ○おわりのあいさつ	・児童に合わせて活動と気持ちの選択カードを使用する。



＜教材など＞

テレビ／学習スライド／

タンブリン×8、ミニ太鼓×8、鈴×8 …最大数。そのときによって数を調整します。

ジャングルポケットの動物パネル、動物のお面、ホワイトボード

【単元後の他教科との関連】（定着・汎化）

生活単元学習	キラキラ学習発表会にしよう
体づくり	表現運動など
国語	話す・聞く
特別活動	学習発表会

＜アンケート＞



＜振り返りカード＞



＜評価カード＞



<評価>

○「協働的な学び」での生徒の様子

- ・『しろくまのジェンカ』では、初めにジェンカを一人で踊る学習を積み重ねた後に、友達と一緒に踊る学習をした。友達と一緒に踊ることで、一人よりも活動を楽しみ、学習に親しみや期待感をもっている児童が多かった。
- ・『ジャングルポケット』では、事前に演じたい動物を選び、友達の前で発表した。発表した後に教師や友達から賞賛や拍手を送られたり、「いいねカード」を元にした感想を聞いたりすることで、自分の発表に達成感を持ち、「またやりたい」という気持ちをもてた児童が多かった。
- ・友達の発表を見る機会を学習の中に適宜設定することで、友達の様子を見て自分の表現方法をさらに工夫したり、進んで良かったところを言葉で賞賛したりする児童が増えてきた。
- ・「いいねカード」を活用することで、「どう感じたか」を考えたり、友達の良いところを見付けようとしたりしていた。

○「協働的な学び」は目標に迫る有効な手立てだったか

- ・友達と一緒に活動に取り組んだり、友達の前で発表したりする学習を通して、音楽表現や音楽活動をする楽しさや技能を深めることができた。
- ・音楽活動の発表に対して、賞賛されたり感想を聞いたりすることで、音楽活動への意欲や、音楽活動をする事の良さを感じることができた。
- ・友達の音楽活動を鑑賞することで、興味や関心をもって音楽を聴くことができた。鑑賞を評価するという活動を設定することで、より考えて見たり聴いたりすることにつながった。

○その他

- ・自分で楽器や活動を選ぶ、考える学習を設定することで、主体的に音楽活動に取り組む姿を引き出すことができた。

<単元の評価>（何が身に付いたか）

- ・繰り返し学習することで、曲に合わせて歌唱をしたり、簡単な身体表現をしたりすることができた。歌唱や身体表現が難しい児童も、体を揺らしたり曲を聴いたりすることで曲に親しむことができた。

『アイアイ』

- ・シンプルで繰り返しの多い振り付けで、これまでより大きな声で歌うことができていた。

『しろくまのジェンカ』

- ・段階的に繰り返し取り組むことで学習を受け入れ、みんなで踊ることにつながった児童が多かった。友達と一緒に取り組むことの楽しさを感じている様子だった。

『ゴリラのおんがくかい』

- ・自分の担当する楽器や鳴らすところを覚えて、楽器を鳴らすことができた。
- ・グループ別の初めの学習として、色でグループを分けたことが分かりやすかった。
- ・ゴリラを色分けしたり、提示する動画があったりしたことで、児童がいつ演奏するのか分かりやすかった。

『ジャングルポケット』

- ・友達の発表に注目したり、聴いたときの気持ちを考えたりしながら聴くことができた。
- ・自分の役割を選ぶことで、意欲をもって音楽表現に取り組むことができた。
- ・発表する児童の中には、手本の動きをまねするだけではなく、自分なりに考えて工夫して表現しようとする姿もあり良かった。
- ・鑑賞して「どう感じたか」を子どもが考えて伝えるよい機会になり、とてもよい学習だった。
- ・発表をしている児童と、それを評価する児童がいて、それぞれの学習ができてよかった。評価のカードが分かりやすかったので、選ぶのを楽しんでいる様子だった。

<振り返り>

- ・選択カードを使うことで、「楽しかった」「難しかった」と気持ちを発表することができるようになってきた。

＜改善事項＞（発達段階を捉えどのような支援が必要か、実施するためには何が必要か）

- 『ゴリラのおんがくかい』では、リズムを意識して楽器を鳴らすところまで学習を深めることができなかった。今回は好きな楽器を選び、自分のパートで楽器を鳴らすことにねらいを設定していたが、リズムを意識できる児童には手本動画を活用して学習を進めても良かったと感じた。後半は楽しくなり何度も楽器を鳴らす児童もいたので、グループごとに音をそろえよう！なども言葉掛けをするようにしても良かった。
- 移動や動きの多い学習になってしまった。活動が複雑になり難しい児童もいたように感じたが、それぞれの先生が児童に合わせて指導・支援をしていたので学習を進めることができた。
- 『ジャングルポケット』…初めは動物の役をやりたい人にやってもらったが、説明が不足して次回もやりたい気持ちが強くなり、気持ちが不安定になった児童が複数人いた。発表する日をきちんと示し、見通しや順番が分かるように提示すると気持ちの不安定さも解消された。
→今後の生活に向けて良い経験になった。これからも選択する、順番に取り組む学習は必ずあるので、事前の提示や言葉掛け等で子どもたちが活動を受け入れられるようにしていく。
- 鑑賞や感想発表の時間をもっと深めたいと思っていたが、時間が足りずなかなかゆっくりと確認することができなかった。「ライオンがかっこよかった」「発表が楽しかった」など、感想を言うことができた児童もいたので、いいねカードの結果だけではなく、考えた感想を伝え合える時間を設定できると良かった。